

The answer for this time.

The sound for the future.

The answer for this time.

The sound for the future.

The answer for this time.

The sound for the future.

The answer for this time.

The sound for the future.

The answer for this time.

The sound for the future.

The answer for this time.

The sound for the future.

The answer for this time.

The sound for the future.

The answer for this time.

The sound for the future.

The answer for this time.

The sound for the future.

The answer for this time.

The sound for the future.

The answer for this time.

The sound for the future.

The answer for this time.

The sound for the future.

The answer for this time.

The sound for the future.

The answer for this time.

The sound for the future.

The answer for this time.

The sound for the future.

The answer for this time.

The sound for the future.

The answer for this time.

The sound for the future.

The answer for this time.

The sound for the future.

The answer for this time.

The sound for the future.

The answer for this time.

重大発表!?

WOLV

今回は、号外として皆に伝えないといけない事があります。

実に昨年の四月（渋谷クアトロのライブ）から

ワンマンのコンサートはやってないわけで

皆も相当しびれがきれていると思います。

アルバムも出ないし、一体MSはどうなってるねん

という不安の声も実際事務所の方に問い合わせがあったりもしました。

そこで、リーダーである桐やんの今の声を聞いてください。

悲報

Thanks to your heart!

The Kidsの4枚目のアルバムをメルダックレコードから出すことは無くなった。

突然でゴメン。春か夏には出すということで皆を待たせてしまったけど、最後のドタンバでこれが中止になってしまった。

理由の最も大きなものとしては、レコード会社との契約切れがあげられるが、実際のところ最後の最後で、バンドとレコード会社の意見がくい違ってしまったことにあるだろう。これはもう仕方がない。

やっぱり少なくとも自分達が納得いくものをつくらなければ何の意味もないからね。

んでもってゴメン、スマン。

待たせて待たせてこういう結果になってしまって、皆さんのお怒りは察してあまりあります。

が、許して欲しい。これがThe Kidsだから。(スマンのお~)

世の中うまくいかないこともある。もちろんその方が多い。

次のアルバムをどういうカタチで発表するのかということについては、何も決まっていない。

もちろん次のレコード会社も事務所がどうなるのかも決まっていない。

The Kidsというバンドがどうなっていくのか、二人がどうするのか、

具体的にはなーんも決まっていない。

ただ二人とも、どんなカタチにせよ音楽をこれからもずっと続けていくということ。

それからThe Kidsを絶対に解散させないということ。

この二つだけは二人で決めた。

今後二人がそれぞれソロで活動することもあるかもしれないし、

他のバンドに参加することもあるだろう。

が、The Kidsを解散させてしまうことは、

日本のロックの汚点になることは間違いないので、それはしない。

ただもっともっと自由にやるために、

いろんなことやるかもしれないけど心配しないでほしい。

これからもThe Kidsを愛し続けてやってほしい。

キリアケもニシカワもそれは決して変わらない。

皆、これまで本当にありがとう。

そしてこれからもよろしく。

KIDHEARTを無くすなよ。

1996,5,3 K.KIRIAKE

解散はさせない…。というのが二人で話し合ったときに、俺が一番望んだことやった。

解散なんていつでも出来る。世の中の大半の人がKidsのことを知らないのに、解散なんか出来るか!

あの名曲「雪は…」でさえ世にとどかなかった事実……。

いつも時代より一歩早すぎたのか、とも思う。

6年間所属していたmeldacとの契約が6月で切れるという事実もあり

ここらでちょっとTea Timeっていう感じで、休ませてもらいます。

誠に勝手言うてすみません。皆には本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

二人とも当然のことながら、音楽が好きなんだから何らかのかたちで皆に逢えると思います。

でも、当分の間はThe Kidsとしてではなく、桐明と西川といういちミュージシャンとして……。

でもあくまでも二人の望みはThe Kidsというバンドを世に広めるということ。

これだけは皆にもわかっていて欲しい。

皆にとっても、俺たちにとってもThe Kidsはspecialなバンドだから……。

ひとつの区切りとして皆にお礼を言います。

本当にありがとね。

T.Nishikawa

……メンバーからのお願い……

「納得できない」という抗議の申し立ては事務所に電話するのではなく、是非ともこの後の投稿集宛にぶつけて欲しいのです。必ず二人が責任をもって、読ませていただきます。デスクの長野もThe Kidsのことが大好きで、皆のそういう声を聞くと辛いだろうから……。よろしく!

藻屑集 Vol.7 初夏

マツダ自動車がフォードに合併吸収された・・・らしい。

詳しいことはよくわからんが、

とにかく日本のマツダが^{ズツ}米のフォードに乗っ取られたようなもんだらう。

その手のハナシは久しぶりに聞いた。バブル期、逆のハナシはよく聞いた。
やれハリウッドを買い占めるだの、エンパイアステートビルを買い取っちゃめたの。

日本の企業の金にモノをいわせたハシタナサは、見るに耐えなかった。

誤解を恐れずに勝手なことを書かせてもらうが、俺は日本の^{コネファバ}企業が大嫌いだ。

日本の財閥達が大嫌いだ。連中はバレなきや何やってもいいと思ってる。

平和な南の島に産業廃棄物を捨てて、金は払っていると云ってみたり、

ジャングルを砂漠にして発展途上国のせいにしてたりしている。

ゼーンぶ日本の^ト大企業共のしわざだ。

HIV問題や、TBSビデオ事件にはうんざりさせられてしまう。

いいかげんに隠すのはやめて欲しい。

日本はいつからこんな国になっちゃったんだらう。

戦後、じじい達が若かったころ日本は貧乏だったという。

俺達若僧が口出しできないほどの苦渋をなめてきたのかもしれない。

あの頃、じじい達は金が欲しかったんだらう。強くなりたかったんだと思う。

じじい達だってはじめは正義の為に金が必要だったはずなのに、

いつのまにか金だけが目的になってしまった。

^{じじい}日本よ、よく頑張ったよ。けどもう充分だよ。

何も外国の子供達がしゃぶっているアメ玉までとりあげなくていいよ。

Kidsが「JAP」を発表して7年。

マツダはトヨタ、ニッサンに比べれば弱者だった。はじめは必ず弱者から犠牲になっていく。

俺達の国があの歌のようになる前に、

^{じじい}日本よ、何のために金が必要だったのかを早く思い出してくれ。

そして俺達は何のために生きているのかを若者に伝えてやってくれ。

俺は政治に格別の興味も無いし、この世の中で一番好きなものはロックンロールだ。

どちらかといえば、勘でしかものをいわない無責任なタイプだ。

ただ^{ソビエト}一市民として、当たり前前の不安をこの国に感じている。

ナチスをつくったドイツ、大日本帝国を持った日本、政府や政治家のせいじゃない。

何の疑いも持たなかった^{ソビエト}市民が作りあげた悪魔達だ。

俺はロックンローラーとしてこの国のじじい共を見張っていく。

by Kiriake

STORY OF THE GLORY

「コンテスト」

1980年にインディーズバンド The Kids を始動させてから、俺達は様々なコンテストに出場した。当然九州大会では優勝を次々ともぎとっていったし、本選でもかなりいいところまでいった。特に思い出深かった大会のひとつが「SONY SDオーディション」。全国大会を渋谷公会堂でやったんだけど、一緒に出場したアマチュアバンドの中に、聖飢魔Ⅱや種とも子、LOOKなんかがあった。(ちなみにLOOKは「シャイニングオン」を歌っていた)このコンテストは、過去にストリートスライダースや尾崎豊なんかが出ていて、かなり権威のあるものだった。

そんな中で The Kids の出番は「トリ」。つまりラスト。当時のメンバーは、B:千葉博、D:寺山ひろみという純粋な博多めんたいロックバンドだった。とりあえず「トリ」を無事に務めあげ、拍手喝采の中インタビューを受けていた桐明だったが、その直後ゲストが登場することになる。つまり「大トリ」である。そのゲストとは“白井貴子&ザ・クレイジーボーイズ”。

数年後、桐明は単身上京、幡ヶ谷のボロアパートでそのコンテストのビデオを西やんに見せていた。インタビューシーンになって、西やんが飲んでたコーヒーを吹き出しながらTVの画面を指差した。「桐やんの後ろで運ばれてるドラムセット!!俺のやんか~!!」そう、ビデオには当時クレイジーボーイズのドラマーだった西川貴広の真白いドラムセットがはっきりと映し出されていたのだ。

つまり、俺と西やんは東京で出会う前、すでに共演していたことになる。とりあえず二人ともバカちん&どアホーなので、何も覚えていなかったが、さすがにビデオは正直である。二人はそこでイッキに盛り上がってしまった。

ところでコンテストの結果だが、優勝者は最後に呼ばれることになっていた。3位・2位と呼ばれるうちに、最後までニタニタしていた俺達博多Kidsだったが、1位(つまりチャンプの下)で、最大のライバルと目していたLOOKが呼ばれて、俺達は優勝を確信してしまった。がしかし、優勝は当時高校生だった東南西北というバンドに持ってかれてしまった。聖飢魔Ⅱは特別賞だったと思う。

いやーあん時は正直云ってムカついた。自分達の認識の甘さにムカついた。東京が、全国区があんなにオクレテル(音楽的に)とは思ってもみなかった。ナ〜ンチャッテ(結構本気)

何はともあれ、その何年か後に名ドラマー西川貴広と運命的な再会?を果たせたわけだから良しとしよう。 つづく

はからずも、次回が最終回となってしまった「STORY OF THE GLORY」。東京プロフェッショナル The Kidsの誕生、そしてベルリン・ロンドンと世界を駆け抜けた The Kidsの秘密を完全公開じゃ〜。

by Kiriake

俺は頑張るでー！皆も頑張りやー！

俺はご存じの通り「キング・クリムゾン」というバンドに興味がある。いや、熱烈なファンである。特に、俺が最も尊敬しているドラマー〈ビル・ブラッフォード〉が現在もなお在籍している、ということがその理由のひとつである。キング・クリムゾンというバンドは、10年周期で活動する、と言われている。1年遅れではあるが、去年の10月、実に11年ぶりに、約束を果たすかのように彼等は来日した。俺は当然の如くそのコンサートを(11年前と同じ気持ちで)観に行つた。“10年はひと昔…”っていうけど、コンサートの最中の彼等はひと昔前では毛頭なかった。まるで、休みなく活動し続けていたかのような感じだ。罷り間違つても再結成ブームの波にのり、この日本という宝箱から大金を蔵いで帰るようなしょうもないバンドではなかった。そして、このバンドのスゴイところは、「キング・クリムゾン」という名前が一度たりとも無くなったことがないということである。つまり、解散をしていないということ。つまり、再結成ではないということ！なんてかつこ良いのだろう、て思わない？なんか余裕を感じるよね。ま、生活のリズムが、我が日本とは異なるからそういう余裕も出てくるんだろうけど。ここで言う余裕とは、心の余裕のこと、つまり包容力につながるんだよね。キング・クリムゾンの音楽から包容力を感じ取るなんて奴はそう滅多にはいないと思うけど、俺なんかはすごくそれを感じてしまう。ああ、いかんね。興味の無い人にしてみればつまらん話をしてしまってるけど、もうちょっと我慢してね。キング・クリムゾンの音楽について話をすると何ページにも及んでしまうので、ここでは割愛させてもらうけど、俺が何故、こんなにまでこのバンドに惚れているのかだけは是非言っておきたい。イコールそれが俺の音楽論だから。

一つは、発想が限りなく自由であるということ！閃きとか思いつきをとても大切にしているとしが思えない音割り…。俺は死ぬまでにアルバム一枚でいいからそういう思いつきの美学をレコーディングしてみたいと思っているんだけど、なかなかやっぱどこかで何らかの束縛とかが出てきてしまうものなんだよね。つくづく音楽って難しいと思います。

二つめは、アルバムを出す度に何らかの進化が窺い知れる、ということ！これは、kidsでも同じことを言っていました。だって、毎回々々同じようなアルバムを割つても面白くないでしょ？やっぱ常にいろんなことにチャレンジしていきたいもんね。キング・クリムゾンの場合、今回の進化に値するといえば、バンドの編成が(ツインドラム)(ツインベース)(ツインギター)という6人編成になったということ。楽器が出来ない人でも、これがスゴイっていうことくらいはわかってもらえると思います。どういふがたちにせよ、[進化する]ということとはとても大事な事だと思う。我々人間にとっても同じことがいえるだろう。[進歩して変化すること！]簡単なようで、これがなかなか難しい…。何せ自分自身が進歩しないことには、次にいけない。ただ変化を求めてみても、そこには仮面をかぶった自分がいるだけ。要するに、[日々努力！]っていう言葉で締めくくるのもなんか説得力ないけど、結局日々努力なんだよね。トリョク！

なんか、音楽論から人生論になってしまったけど、まあ似たようなもんではある。キング・クリムゾンのメンバー個々も並々ならぬ努力はしてきたと思うし、俺なんかまだまだ努力が足りんよ…。きつと！

また、たぶん10年後に来日するであろうクリムゾンのライブを心待ちにする間、俺は頑張るでー！皆も頑張りやー！そして、the kidsは休止するにしても、二人とも、また皆に逢える日まで[日々努力！]しているということだけは信じていて欲しい。

茶—しばき関係 VOL.4

さて、今回はいつもとちょっと趣向を変えて「心理ゲーム」をやってみたいと思います。いやア、このコーナーも回をおう毎にハガキが増えてきて喜んでいますが、なかには、「難しくて一日がかりで解いた」という人もいて、少し難しかったかな？と反省しました。そういう人の為に今回は、じえ—んじえん頭を使わなくてもいい「心理ゲーム」を御用意しました。この答えであなたの深層心理が覗けるわけです。そして、あなたの人生までもが……。

次回の答えをお楽しみに……。

Question

あなたは、5匹の動物を連れて旅にでることになりました。しかし、途中で一匹ずつ手放していかなければなりません。さて、あなたは、どの動物から手放していきますか？

ウマ ウシ ヒツジ トラ サル

手放す順番を書いて「茶—しばき関係」まで……。

見事、桐明・西川の答えと一致した方には、the kids特製！特別！
特殊！特色…！特出…！特大……！特選な……！……もうない？

何か得をするビデオをプレゼントします。

あまり深く考えずに、思いついた順番を書いてどしどし応募してください。

ア！あった、特集！






茶—しばき関係 VOL.3

Answer

キッズハフメツダ

ア	ウ	ツ	サイ	園	—	フル	—	夢		
園	夢	キ	リ	ヤ	ン	夢	ラ	—	夢	マ
リ	ノ	夢	ン	夢	サ	ミ	ツ	ト	夢	リ
カ	リ	テ	夢	リ	—	夢	園	夢	ロ	ン
夢	オ	ン	ガ	ク	夢	シ	オ	ワ	ン	夢
園	夢	ホ	園	ツ	夢	ヨ	—	カ	ト	—
カ	ギ	夢	ノ	夢	カ	—	ト	夢	ン	夢
ワ	ル	ホ	園	ト	夢	ワ	夢	ホ	夢	ヨ
夢	ト	夢	カ	ミ	テ	夢	キ	ン	ヨ	ワ
ミ	夢	ク	イ	—	ン	夢	ツ	夢	夢	ス
ギ	園	モ	夢	夢	フ	園	ト	ハ	—	イ

栄えある当選者は

- no.25  様
- no.37  様
- no.43  様
- no.48  様
- no.55  様

おめでとうございます。

投稿集 vol.2

◆二月二十三日「MUSIC FILE FUKUOKA」

なる本が発売された。福岡音楽史

(108ページ)にキッズが載ってた。

皆、見るべし!

P.N.権左命

◆怒羅倉権左工門の正体を私は知っている。

ちよつとおちやめでキュートな妖怪さ♡

P.N.権左命

◆「SUNSET CALLING」(中古)のCD

見つけました。送料等負担してくださいる方に譲ります。あと、ワイルドキッズのCD1と2をノイズの少ない状態で録音していた方がいたら連絡下さい。



◆最近私は何処かに心のよりどころを求めている。そうだ! リンゴ教に入ろう。

きつと信者第一号のハズ...

P.N.へそパンダ

次号で最終回となってしまった投稿集ではメンバーへの苦情・励ましetc...大募集致します。

今までずーっと心にためていた疑問
メンバーが発表した決断に対する罵声
何でもOKです。

お待ちしております。

お便りの宛先は

〒107 東京都港区北青山

メル音楽出版株式会社

KIDS VOX編集部 投稿集係

西川よりみんなへ。

ということで、誠に残念ながらファンクラブも、
また今度 The Kids が活動を開始するまでは一時休止になってしまうわけです。

いまだに KIDS VOX に入会したいという問い合わせもあり
つい最近になって入会したという人もいます。

そしてもう何年も The Kids のことを好きでいてくれる会員の人達・・・。

そこで俺は親愛なる KIDS VOX の Member 全員のことを考えました。

そこで思いついたのが「インターネット」。

俺は Macintosh を持っているけど、まだインターネットには手を出していません。

でもいい機会なので近々やってみようと思います。

そうなれば、ホームページというかたちで皆とアクセスできる！

今やコンピューターは一家に一台の時代。

「インターネットカフェ」とやらも最近増えているし、

コンピューターを持ってない人でも何とか利用できると思う。

ホームページを開くときは、必ず皆に連絡するからその時をどうか心待ちにしてください。

information

昨年の10月にメル音としてのファンクラブを発足して、

わずか7ヶ月しかたっておらず、

STAFF も途方に暮れております。

しかしメンバーのかたい意志を第一に考えれば、

この結果が二人にとって一番良い形なのです。

ファンクラブ休止に関する詳しい手続き等は、

最終号にてお知らせ致しますので

あらかじめご了承ください。

次回の会報がひとまず最終回になります。

スペシャルな企画でお送りしたいと思いますので

お楽しみに！

KIDS-VOX Vol.7

1996年5月24日発行

メル音楽出版株式会社

東京都港区北青山 

phone(03)  **fax(03)** 